

興福寺の子院絵図

はじめに 歴史研究室では興福寺の文書調査を継続的に実施しており、2001年度には、従来奈文研の調査の手が及んでいなかった文書函についても、函番号・文書番号をつけつつ調査するに至っている。そのなかで第86函とした文書函は140点もの絵図を納めた絵図函であり、その絵図の過半は、興福寺の子院を描いた絵図で占められている。その一部は1999年興福寺国宝館特別陳列「興福寺の絵図」に出展されたこともあるが、一般にはほとんど知られていないと思われるので、ここに紹介したい。

内 容 子院絵図群は1冊に1子院を描いたもので、一定の書式に則った、一括性の高いものである。大きなものでは1辺1mを越すものもあるが、大多数は縦紙1紙、30cm×50cmほどである。絵図としての内容は概して簡略で、境内・建物の輪郭を描き、さらに建物内部の間取りを描いているものもある程度である。縮尺なども厳密ではない。ただし、境内・建物の1辺ごとの長さを詳細に書き込んでおり、またそれぞれの絵図には境内惣坪数・建物坪数・空地坪数を必ず書き込んでいる（巻頭図版参照）。そのような書式から見て、境内地・建物の規模と坪数を把握することに主眼をおいて作成された絵図であると言える。

作成時期は、13号・26号・49号・80号・89号には「寛政三<辛亥>年三月」の識語があり、寛政3年（1791）とわかる。このうち13号・26号・49号・89号は同筆で、宝蔵院と、後見が宝蔵院である子院である。また、60～62号所収袋の記載より（表2補足説明参照）、59号・60号・84号・96号も同年作成と判断できる。書式の統一性から見て、基本的にみな寛政3年の作成と考えてよからう。

ただし、興福寺の子院すべての絵図が伝存しているわけではない。門跡の絵図は大乗院・一乗院ともに存在せず、院家も松林院家が存在するのみである。その他の子院はかなり存在しているが、「興福寺境内図」（奈良県立奈良図書館蔵。奈良県教育委員会編『奈良県大般若経調査報告書』1992に翻刻あり）と見比べると、以下の子院が脱落している。寺内方では福寿院・奥蔵院・金剛院・惣珠院・文殊院・観禪院・二諦坊・宝掌院、山上方では慈明坊・谷之坊・慈恩院・功德院、菩提院方では青滝院・世尊院。

存在しない絵図は、寺外に流出しているものもあるのだろう。管見に触れたものでは、天理図書館蔵の「修南院家絵図」（保井文庫kk-88-45）は本絵図群と一連のものと考えられる。門跡は作成されなかった可能性が高いが、院家以下については、寛政3年にすべての子院の絵図が作られたと考えられよう。

検 討 次にこれらの絵図について、若干の検討を試みたい。表2は、寛政3年作成と思われる子院絵図を列挙したものである。文書番号・子院名・図中に記載の境内惣坪数・建物坪数を記し、また図中にみえる「土蔵」などの注記を、参考までに備考欄に記した。また原稿執筆にあたっては、興福寺所蔵「興福寺諸院株立帳」（寛政4年6月）の閲覧を許された。この史料は、子院ごとに現住・児体・無住の別、寺元・後見の有無、石高などを記したもので、寛政4年における興福寺子院の状況をよく示していると考えられる。そこで表2には、「興福寺諸院株立帳」の内容の一部も併せて掲げておく。

子院は、一般的には門内の左右いずれかに塀重門があり、中庭のある母屋とともに、土蔵などの別棟を有するものが多い。しかし別表からは、子院間で規模の差がはなはだしいことが読みとれる。大きなものは複数の蔵を所有し、建坪150坪を超える子院も15件を数える。しかし一方で、建物がきわめて小さなものや、さらには建坪が0、つまり建物が全く存在せず、塀と門しか描かれない子院も16件存在している。近世、力が衰えつつある興福寺の状況を示しているのかもしれない。

だが、それがそのまま子院の勢力を反映していると考ええるには問題もある。「興福寺諸院株立帳」と見比べると、建坪などの外観は、石高・現住／無住などの状況とは必ずしもきれいに対応しないのである。近世、子院の財産は株として伝領されていた。建物が存在せず、あるいは無住であっても、領地は附属しており、寺元・後見は存在していた。むしろ、建物が消滅しても敷地は存続し、絵図に記録され続けている事実にも重要な意味があるのだろう。

興福寺は明治維新の際に大きな打撃をこうむり、その子院はすべて消滅してしまう。それゆえ興福寺の子院は不明な点が多く、その実態は様々な角度から考察する必要がある。本絵図群がその景観を復元する上での重要な資料であることは、疑いあるまい。（吉川 聡）

表2 興福寺子院絵図一覧

号	子院名	境内惣坪	建坪	備考	「諸院株立帳」		号	子院名	境内惣坪	建坪	備考	「諸院株立帳」	
					坊領 (石)	現/無住						坊領 (石)	現/無住
2	大喜院 (寺)	479	4		47	児体 (15)	54	千手院 (山)	822	199.35		45	現住
3	法輪院 (寺)	828.417	5	建物は土蔵1のみ			55	玉林院 (山)	630	93.68		86	無住
4	湯屋敷 (寺)	230.1		建物は土蔵1のみ			56	中藏院 (山)	319.19	108.75	土蔵1・中庭1	53	無住 (26)
5	宝掌院 (寺)	1144.68	170.5	蔵3・堀1 境内に蔵384坪あり			57	知足坊 (山)	401.79	74.305		84	無住 (4)
6	清浄院 (寺)	468.8	80.2	土蔵1・中庭1	(88)		58	大聖院 (山)	300.57	0		36	現住
7	延寿院 (寺)	620.173	143.5	土蔵2・中庭1	13	現住	59	安養院 (山)	966.512	50.225		22	無住 (23)
8	慈尊院 (寺)	563.85	147.5	土蔵1・中庭1	174	現住	60	勸修坊 (山)	1053.15	145.95	土蔵2・中庭1	82	現住
9	阿弥陀院 (寺)	1200.9	49.48	慈尊院へ借し地あり	56	児体 (29)	61	勸修坊 南垣外 (山)	1047.5	0		—	—
10	唐院 (寺)	541.778	218.653	装束蔵1・土蔵1・蔵2・内蔵1・造り屋1・落庭2 建坪内訳:公物方132.653坪、住持坊方86坪	(164)		62	勸修坊 北垣外 (山)	3460.5	0		—	—
11	五大院 (寺)	548.3	108.4	土蔵2・社1・中庭2	174	児体 (23)	63	花藏院 (山)	608.7	122.72		75	無住 (3)
12	真如院 (寺)	307.24	87.75	土蔵1	76	児体 (10)	64	光林院 (山)		0			
13	尊教院 (寺)	548.32	148.25	土蔵3・中庭1	127	児体 (17)	65	常喜律学院 (山)	629.6	6	建物は堂階が12坪・仮建物が6坪		
14-1	新坊 (寺)	462.37	44.47				66	宝光院 (山)	418.2	6		37	児体 (37)
14-2	新坊 (寺)			蔵1			67	宝寿院 (山)	390	151.2	中庭1	95	現住
15	正法院 (寺)	667.96	66.48		30	無住 (8)	68	拍子神社・白山権現社	—	—		—	—
16	妙音院 (寺)	299.67	53.75	土蔵2	8	無住 (8)	69	西林院 (山)	505.3	0			
17	実相院 (寺)	188.6	0		24	無住	70	松林院家 (山)	2166.38	156.95			
18	大持院 (寺)	383	73	中庭1	31	児体 (16)	71	常光院 (山)	584.5	42.5		50	現住
19	宝徳院 (寺)	423	20		51	現住	72	最勝院 (山)	1146.4	174.7	土蔵2	49	現住
20	窪転経院 (寺)	808.22	77.94		84	無住	73	蔵光院 (山)		0		24	無住
21	西発志院 (寺)	266.96	95	土蔵1・中庭1	85	現住	74	徳藏院 (山)	376.375	110.45		61	無住 (4)
22	福成院 (寺)	268	0		25	児体	75	竜徳院 (山)	306.79	0		29	現住
23	蓮花院 (寺)	736.803	71.5	中庭1	(48)		76	菩提院 (菩)	967.9	125	本堂1・鐘楼1・宮2・竜池1	(44)	
24	吉祥院 (寺)	351	31		58	児体 (36)	77	興善院 (菩)	1423	10		75	現住
25	中院屋(勸学院) (寺)	1452.808	136.38	宝蔵1・二重塔1・宮1・拝殿1・造り屋1			78	明星院 (菩)	256	52.75		42	児体 (37)
26	竜雲院 (寺)	903.3	178.3	土蔵2・堂1・中庭1	152	現住	79	南勝院 (菩)		0		(15)	
27	慈門院 (寺)	778.19	127	土蔵2・中庭1	70	現住	80	賢聖院 (菩)	714	183.5	堂1・蔵2・宮1・中庭1	133	現住
28	竹林院 (寺)	499.253	1.5		59	児体 (15)	81	三学院 (菩)	190.112	0		36	無住 (27)
29	観禅院堂 (寺)	1469.259	197.596	本堂1・手水屋2・鐘楼1・部屋1・宮1 東円堂跡154.84坪	(126)		82	妙光院 (菩)	321.14	42.75		35	現住
30	勝願院 (寺)	764.68	144.22		44	児体 (7)	83	宝珠院 (菩)	273.7	4		23	無住
31	勸使坊 (寺)	284.03	0				84	円成院 (菩)	465.69	36.75		74	無住 (2)
32	西恩院 (寺)	537.264	89.25		52	現住	85	淨名院 (菩)	288.54	18.25	土蔵1	63	無住 (4)
33	普門院 (寺)	0					86	蓮藏院 (菩)	674	36.7		42	無住 (65)
34	寿福院 (寺)	282.75	0		22	無住 (18)	87	自証院 (菩)	358.875	123.54	土蔵2・米蔵1	60	現住
35	愛染院 (寺)	500	18.2		29	現住	88	円明院 (菩)	526	170	土蔵4・味噌部屋1・薪部屋1・中庭1	46	無住 (6)
36	金勝院 (寺)	586.64	105.52	蔵1・中庭1	55	児体 (5)	89	明王院 (菩)	374.85	137.75	土蔵2・亭1・中庭1	105	現住
37	証学院 (寺)	716.068	29.75	土蔵1	21	無住 (11)	90	恵海院 (菩)	292.06	117	土蔵1・中庭1	137	現住
38	新藏院 (寺)	536.12	0		17	無住 (8)	91	多聞院 (菩)	425	77	土蔵2・中庭1	66	無住 (16)
39	玉蔵院 (寺)	940.09	6.25		24	無住 (35)	92	常如院 (菩)	557.75	82		60	児体 (19)
40	仏地院 (登)	873.755	88.5	中庭1	(50)		93	成身院 (菩)	2050	306	土蔵2・庵1・中庭3	306	現住
41	無量寿院 (登)	691	166	土蔵1・米蔵1・中庭1	133	児体	94	成身院客殿 唐破風図	—	—		—	—
42	妙徳院 (登)	637.5	178.25	土蔵1・中庭1	171	無住 (17)	95	蓮成院 (菩)	529	145.25	本堂1・雑蔵1・米蔵1・内蔵1・中庭1	60	児体 (12)
43	摩尼珠院 (登)	1258.943	186.482	土蔵4・湯小屋1・中庭2	83	無住 (4)	96	蜜藏院 (菩)	356.125	0		41	無住 (21)
44	摩尼珠院領 高畑村	—	—	416坪:字常喜院の畑 782坪:字客養寺の畑	—	—	97	養賢院 (菩)	606	122	土蔵1・米蔵1・小庭1	41	現住
45	妙喜院 (登)	602.375	158.5	土蔵1・中庭2	32	無住 (4)	98	安楽院 (菩)	567.86	63.59		28	児体 (9)
46	正智院 (登)	762.74	111.86	米蔵1・セッシン1・中庭1	30	無住 (18)	99	円満院 (菩)	552.27	0		47	無住 (6)
47	福生院 (登)	486.6	53		25	現住	100	玉花院 (菩)	667.31	46		76	現住
48	持宝院 (登)	1439.882	121	土蔵2・中庭1	52	現住	101	三藏院 (登)	693	0		—	無住 (9)
49	宝藏院 (登)	778.85	121.25	土蔵3・中庭1	35	現住	102	隅夜堂	97.5	18		—	—
50	観音院 (登)	302.5	53.5	土蔵2	(96)		103	中番所	27.574	20.527	建物のみを描く 土蔵1	—	—
51	法雲院 (登)	2272	81	土蔵1・堂1	49	無住 (5)	104	十一鐘	110	18	同図2枚あり。うち1枚と付箋には「十一鐘」とあり	—	—
52	弥勒院 (山)			敷地外の道 林も描く	12	児体 (12)	108	東室 (寺)					
53	千手院・玉林院・弥勒院 (山)	—	—	隣接する3子院と道・林などを描く	—	—	参考	修南院家 (寺)	1210.7	146	中庭3 天理図書館蔵		

(凡例)

- ・子院名：子院名の後のカッコは所在地を示す。(寺)：寺内方、(登)：登大路方、(山)：山上方、(菩)：菩提院方。基本的に端裏書に基づく。
- ・備考：別棟等で図中に注記があるものは「土蔵1」などと記したが、別棟でも注記がないものは挙げていない。
- ・坊領：斗以下は切り捨てた。カッコは「興福寺諸院株立帳」に記載がない場合に、「興福寺領之記」(貞享5年(1688)。奈良県立奈良図書館蔵。藤田文庫)の記載を記したものである。
- ・現/無住：「児体」は元服前の少年の場合である。「児体」・「無住」の後のカッコは、寛政4年までの無住年数である。

(補足説明)

- 14-2号・108号：1子院を描いた図だが、境内惣坪・建坪・空地の記載なし。寛政3年作成でない可能性もあろう。
- 44号：摩尼寿院領の高畑村の畑を描いた指図。
- 68号：社の建物のみを描いた指図。
- 94号：建物立面図。識語は93号と同筆だろう。
- 61号・62号・102号・103号・104号：比定地未詳。
- 60～62号：所収袋に「寛政三<辛亥>年／勸修坊 蜜藏院／円成院 安養院 絵図」と記した後、「勸修坊」以下を貼紙で抹消し、異筆で「山之上方／勸修坊／外ニ南垣外北垣外図式枚トモ入」と上書する。